

大会宣言（案）

岸田自公政権の腐敗政治は、日本の民主主義と法治主義を否定している。彼らは「自分達さえよければ、法律に違反しても構わない」「国民がどれだけ苦境に喘いでも、自分達さえ潤えば構わない」「自分達の権力を維持するためなら、アメリカに従属し、戦争に加担しても構わない」のだろう。そして、その政治は、貧困と格差を拡大し、未曾有の出生率低下、少子超高齢化社会を生み出した。そして現在進められている軍備拡大と福祉の後退は、国民生活に致命的な打撃を与えている。私たちはそれをくい止めるために最大限の努力をしていく。

マスメディアが凋落させられ、インターネット・SNS ではデマが飛び交い、真実が塗り替えられ、国民は公平な情報に触れることが難しく、自分の信じたいことを信じ、気に入らない情報は拒絶する。現行の軍備拡大を是認する土壌が出来上がっている。

しかし、それでも私たちは現行の社会の中で、街頭・駅頭に立ち、真実を訴え、自らの主張を掲げ、社会の変革を求めて闘い続けることができる。いずれ、それさえも自由にできなくなるかもしれない。それだけの危機が目の前に迫っている。

この状況に歯止めをかけるためには、日常の活動の強化はもちろんだが、最終的には選挙によるしかない。まもなく東京都知事選挙と都議会議員補欠選挙がある。いつかはわからないが解散総選挙がある。そして、来年には参議院議員選挙と葛飾区議会議員選挙がある。

私たちは各級選挙を通じて、非戦・非武装・中立・非同盟の旗を掲げ、新社会党の存在をアピールし、立憲野党の飛躍に力を尽くす。来たる参議院議員選挙において新社会党の候補者「甲斐正康」の必勝をめざしてたたかう決意を固めた。

戦争への道を止め、平和で人権が守られ、安心して暮らせる環境で働き暮らせる社会の実現のために、この決意を市民や労働者に届け、平和を求める民衆の結集の軸となるため全力を尽くそう。

以上、宣言する。

2024年5月19日

新社会党東京都本部第29回定期大会